

～ 北大阪流通センター再開発 第3弾 ～

(仮称) 北大阪トラックターミナルⅡ期棟の建設着工

南海電鉄グループの泉北高速鉄道株式会社（本社：大阪府和泉市、社長：金森哲朗）では、2026年3月の竣工を目指して、6月12日（水）に大型マルチテナント型物流施設「（仮称）北大阪トラックターミナルⅡ期棟」を着工し、同日、安全祈願祭を執り行います。



（仮称）北大阪トラックターミナルⅡ期棟 外観パース（北西から）

「（仮称）北大阪トラックターミナルⅡ期棟」は、「北大阪トラックターミナル1号棟」「大阪府食品流通センターE棟」に続く北大阪流通センター再開発の第3弾となる基幹施設です。延床面積約183,000㎡（約55,400坪）、地上6階建ての施設で、1階はトラックターミナル、2階から6階は配送センターとなっており、6階まで直接アクセス可能なダブルランプウェイを備えています。災害対応能力にも優れ、大型マルチテナント型物流施設としては全国で初めての中間層免震構造を採用するほか、停電時にも電力供給が可能な非常用発電設備を設置します。

また、SDGsへの取り組みとして、屋上に太陽光発電設備を設置し再生可能エネルギーを活用することや、EVトラック用充電設備を設置することで入居企業のEVトラック導入をサポートし温室効果ガス排出量の削減に貢献するなど、持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

<当施設の特長>

1. トラックターミナルと配送センターの複合的な物流施設

幹線輸送を行うトラックターミナルと配送、保管、流通加工等の役割を担う配送センターが一体となった複合的な物流施設として、迅速且つ効率的な物流が実現可能です。

1階トラックターミナルには特別積合せ貨物運送事業者9社が入居される予定です。

2. 交通アクセスに優れた物流業務の最適地

近畿自動車道「摂津北IC」から約1.2km、大阪市内からは約10kmに位置し、名神高速道路、近畿自動車道、中国自動車道などの高速道路と、大阪中央環状線や国道1号線などの主要幹線道路に近接した好アクセスな立地です。また、流通業務地区内に立地するため、24時間365日稼働することが可能であり、安定的かつ継続的に利用いただけます。

3. 様々なニーズに対応可能な大型マルチテナント型物流施設

各フロアに直接アクセスが可能なダブルランプウェイを備え、1フロア約7,000坪と広大なスペースで効率的なオペレーションが可能です。また、一区画約850坪から賃貸可能と柔軟な区画設定に加え、各区画に対応した事務所を設けております。

施設内にはコンビニエンスストアを設置するほか、働く人たちがくつろげる憩いのスペースとしてラウンジ等を設けております。また、通勤用の駐車場や駐輪場も整備し、快適な就労環境を提供します。

4. 中間層免震の採用

施設の特徴に合わせて、1階は耐震構造、2階以上は免震構造となる中間層免震構造を大型マルチテナント型物流施設では全国で初めて採用しました。車両の出入りが頻繁なスルー型の1階トラックターミナル部は、耐震構造とすることで免震構造では必須のエキスパンションジョイントがなく、スムーズな車両の通行が可能です。2階以上の配送センターは免震構造を採用することで、震災時でも荷崩れ等が起こりにくく、BCP対応に優れています。

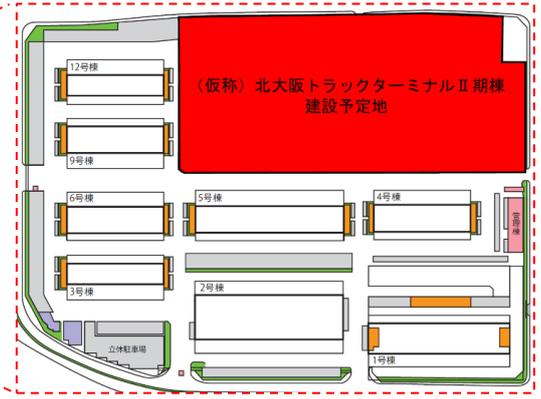
「(仮称)北大阪トラックターミナルⅡ期棟」概要

- ・所在地：大阪府茨木市宮島二丁目
- ・着工：2024年6月
- ・竣工予定：2026年3月
- ・延床面積：約183,000㎡(約55,400坪)
- ・構造：地上6階建(中間層免震構造)
- ・環境、BCP対応：

屋上太陽光発電設備、外壁サンドイッチパネル、非常用発電設備、EVトラック充電設備
DBJ Green Building認証(取得予定)



北大阪トラックターミナル位置図



北大阪トラックターミナル拡大図

以上